

広丘

広丘を代表する歌人の歌

ふもとに村 家々にわらべの
夕日の丘に 佇ちておもへり

あることを

太田青丘



広丘公民館の最新情報は
Facebookページをご覧ください。
<https://www.facebook.com/hirookakouminkan>



松風

続くコロナ禍の一日



9月も中頃、幾日かよい日和が続いた日曜日、娘婿も休みという、これはいいチャンスと誘ってキノコ狩りに出かけた。山の入り口には、もう何台かの車が駐車され、何人かのキノコ狩りが山に入った形跡。やっぱ先を越されたかなと思いつながら、日が出てのお出かけで当然のこと、なに、いくら人が多くたって山は高くて広い、と婿殿を励まし山に入る。

しばらく何の収穫もなかったが、一時間ほど登った中腹で、まず婿殿がほどよい松茸をみつける。小生はイクチヤリコボウなどの雑キノコばかりだったが、神は見捨てず、やがて一本のほどよい松茸を手にしてほっと一息。よしこれからと勢いづいたが、ボウズダケが何本か採れただけで、本命の松茸はそれっきり姿を見せなかった。

敬老の日を含む連休には、コロナ禍でゆっくり帰省できなかった息子一家が来る。収穫はわずかだが、ふるさとの味で歓迎できそうだ。妻の言うには、都合よく去年のキノコが若干冷凍庫に残っているそう。

話は変わるが、この9月末、5代前の公民館長を務められた林雅彦氏のご逝去された。最近やや病気がちであったようだが、1ヵ月ほど前にお会いした折は、病床を出て来られ、奥様を交え、小半時、お話をしたばかりであった。享年90歳、急なご逝去であった。詳しくは次号で。

(T・M)

広丘公民館フォトニュース

広丘公民館上半期の行事を紹介し
ます。
恒例の感想短歌は、塩尻短歌館の
藤森指導委員にコメントしていただ
きました。

古文書講座（5月12日）

一昨年度から始まった、堅石の三村家
古文書を読む講座。

太田秀保さん
を講師に、昨年
度と違う三村家
古文書を選び、
みんなで読んで
います。当時の
人の暮らしぶり
や文化を伺うこ
とができました。



文芸サロン（6月23日）

「黒曜石の山にプラタモリがやってきた」

講師に下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦
記念館館長の宮坂清さん、演奏に金子響
さん（ソプラノ）、田岡将平さん（ピアノ）
が出演。宮坂さんはNHKのプラタモリ
に出演した裏話や黒曜石の話がさまざま
に。後半は寄贈されたピアノのお披露目
を兼ねて金子さんの美しいソプラノの歌
声を楽しみました。

〔参加者の声〕

・お隣りの下諏訪町がタモリが来たこと
で脚光を浴びることに。NHKの取材
の徹底ぶりもかい間見えて楽しい時間
でした。演奏会には癒されました。
・金子さん田岡さん、とても素晴らしい演

奏をありがとうございます。ソプラノ
とピアノ 学生時代からの顔なじみと
のことで息もぴったりでした。幸せなひ
とときをありがとうございます！

〔感想短歌〕

・縄文人話しかけてる 霧ヶ峰 黒く光つ
た 堅い石がある

黒曜石の前に今立つ作者と過去に見た
であろう縄文人が並び立つ奇跡。黒曜石
の黒い光が、縄文人の想いと繋げてくれ
ているのですね。



広丘学びのカフェ（7月16日）

「感謝されるJICAシニア海外ボラン
ティアの感動体験」

講師をJICA（海外協力隊）のシニ
アボランティアを経験された茅野勝彦さ
んに、アフリカのザンビアに2年間、そ
のほかいくつかの赴任経験をもとにした
体験談をお話いただきました。参加者
の過半数が高校生。次代を担う若者たち
に刺激を与えた講座となりました。

〔参加者の声〕

・私も将来海外支援をしたいので、すご
くためになるお話で、もつと海外支援
をしたい気持ちが強まりました。具体
的どんなことをするのか知ることがで
きました。ありがとうございます！

・若いうちになにかしなきゃ！、って
思っていたけど、若い時に色々なこと
を経験したうえで、少し年をとってか
らでもまた新しいことにチャレンジで
きるんだな、と思わず少し安心しました。
1つの国だけに派遣されるのかと思っ
ていたけど、何か国も派遣されていて
びっくりしました。私も何かお手伝い
ができればな。と思いました。

〔感想短歌〕

・あらためてどしの差を知らななさよ
それでもがんばる八十七才

シニアボランティアの体験から自身の
生き様へと
焦点が当た
りました。
改めて豊か
な人生を歩
いていこう
とする決意
が素晴らし
いです。



文芸サロン（7月21日）

「芥川龍之介の応援 『井月の句集』誕
生のために」

昨年度に引き続き、文学研究家の堀井
正子さんをお迎えしました。上伊那で活
動していた俳人、井上井月の句集をこの
世に広めるため、芥川が井月の活動を応

援し支援をしていたエピソードをお聞き
しました。

〔参加者の声〕

・芥川龍之介を通じて井月という俳人の
知らない業績を聞くことができ、また、
この井月を世の中に広めた下鳥空谷を
森鷗外との結びつきを多く知ることが
できた。

・伊那という身近な場所に井月さんが逗
留されていたことを知り、感動しまし
た。堀井先生のお話は、わかりやすく、
楽しい時間を過ごすことができました。

〔感想短歌〕

・初めての 術後おでかけ 講演会 高
なる胸に 堀井節聴く
作者自身の快癒と、堀井先生の文芸サ
ロン講演が、心の中で一つになる清々し
さがあります。多くの方の癒しとなっ
ていることでしょう。



社協連携講座「SDGsを学ぼう」
(7月27日)

社会福祉協議会と初めての共催講座。SDGsの公認ファシリテータの丸山亜希さんを講師に、「食品ロス」をテーマにワークショップを行い、SDGsの学びを深めました。

〔参加者の声〕

・みんなで考える、一人ひとりが取り組む、が大切だと改めて感じました。みんなで共感し合えるカードゲームはとても楽しく学べました。子供は大人達をよくみていると思いました。それぞれの立場から、学びあってもいいようにいけるよう、これからも意識していきたいと思えます。

・世代を超えた人との意見交換が出来久しぶり。世の中を住みよくなりたいと強く思いました。

〔感想短歌〕

・しょく品ロス ぜんぶ食べて のりきろう みんなでやろう SDGs
「みんなでやろう」という仲間への呼びかけが、力強く清々しいです。食品ロスという一つの信念が豊かな社会を作っていくのですね。



学校日誌を読む会 (7月27日)

戦時中の学校日誌には、当時の世相を反映した記述が多くあります。広丘小学校に残っている学校日誌で昭和6年以降の日誌を読み、次第に戦争の色が濃くなる学校や地域の様子を読み取り、身近な視点から戦争や平和を考えました。(詳細後述)今月一回開催。一緒に読みたい方は広丘公民館へご連絡ください。



青山老師講演会 (7月30日)

広丘・片丘・吉田公民館合同開催で、人権学習の位置づけで、無量寺住職の青山俊重老師の講演会を開催しました。広丘では分館長・分館主事・公民館役員が参加しました。青山老師から「人類ファーストから地球ファーストへ」と題しコロナ禍での生き方について学びました。



ものづくり体験教室 (8月5日)
「ゴム動力模型飛行機」

広丘小学校を会場に、原新田の篠崎厚志さんを講師に、ゴム動力模型飛行機づくりをしました。難しい工作でしたが、苦労して作った模型飛行機を体育館で思いっきり飛ばしてみました。ものづくり

の大切さを学んだ講座です。

〔感想短歌〕

・体育館 限界こえて まきまくり 上にスーと たい空していた
「限界超えてまきまくり」がすごいです。かっこいい飛行への願いが込められています。また後半のスマートさが心の変化を捉えています。



平和学習会 (8月9日)

長崎原爆投下の日に合わせて開催。保科文人さん(堅石)から、実兄が戦死し遺骨を父親とともに引き取りにいった体験談をお聞きしました。(詳細後述)

※参加者の声と感想短歌は7ページで紹介します。



広丘学びのカフェ (8月20日)
「広丘の遺跡の話」

平出博物館の牧野学芸員から、広丘の遺跡の話をお聞きました。広丘には8か所の遺跡がありまだ未調査の遺跡もあるとのこと。「広丘のどこかにまだ知られていない遺物(出土品)があるかもしれない」古代のロマンに思いを寄せました。

〔参加者の声〕

・広丘地区の遺跡がいつ頃発掘され、どのような遺物、遺構ができたのか、わかりやすく説明があり、聞きごたえがあった。広丘地区ではほとんど発掘がされてこなかったこともわかった。
・他県出身の人間ですが、永住している広丘の歴史がわかり、地区への愛着興味がわいてきた。



〔感想短歌〕

・方形の 墓のまわりに 溝ができ 身分差の社会 はじまる弥生
溝から身分差の社会が生まれるのだという分析が新たな発見です。遠い昔の弥生時代が、お墓の変化によって分かるというのはすごいです。

スマホ活用入門講座 (8月24日)

塩尻市振興公社KADOのワーカーが講師となり、スマホの使い方について学びました。12月まで続く4回講座です。



「郷福寺の今昔」
 広丘学びのカフェ（9月14日）

郷福寺を会場に、郷福寺名誉住職から地域の歴史担当郷福寺の昔と今についてお話をお聞きしました。

〔参加者の声〕

- ・久しぶりに本堂に入り気持ちが落ち着く。3度の大火をへて、中興された郷福寺の歴史を聞き勉強になりました。
- ・お寺の中にその時代を生きた村の人々と外との交流の名残があり、誇りがあり、悲しみや楽しみがあったのだと思います。丁寧な時代を語っていただき、これからの広丘の事を考えるためにも大事だと思いました。



文芸サロン「子供も大人も共に楽しめる絵本の世界に魅せられて28年」ライフワークは宮沢賢治（9月15日）

安曇野市にある、絵本美術館&コテージ「森のおうち」館長の、酒井倫子さん（堅石在住）から、森のおうちを立ち上げ運

営されてきたエピソードや、ご自身の宮沢賢治に対する思いなど語っていただきました。後半は、山田さんのリコーダーと、矢野さんのギター演奏。賢治にちなんだプログラムを用意していただき、美しい音色に聴き入りました。

〔参加者の声〕

- ・初めて文芸サロンに参加させていただきました。私自身子育て中で、5歳の息子が絵本の読み聞かせが大好きなので、これから宮沢賢治の世界にふれたい、森のおうちを訪れたり一緒に楽しんでいきたいと思いました。
- ・意欲的にドラマチックな人生を送ってこられた「酒井さんの夢の結晶である『森のおうち』」とてもステキでした。絵本の世界って深いんですね。私もお気に入りの1冊を見つけた。
- ・リコーダー・ギターの演奏とてもよかったです。小学校の午後のころを思い出し、家路に涙が出てしまいました。



広陵中学校とのエゴマ栽培

5年目となる広陵中学校生徒とのエゴマ栽培。エゴマの苗のほか、スイートコーンやかぼちゃの苗も植えました。大人と交流しながら行った農業体験です。写真は6月3日に行った植付作業の様子です。



サマースクール公民館（8月10日）

サマースクール公民館は、えんてらすを会場に行われた中央公民館主催の子ども向け複合講座です。広丘公民館では、生駒由佳さん（野村在住）が講師によるマンガ教室を受け持ちました。サマースクール公民館の中で一番人気の講座で、うまく描けるコツを教えてくださいました。



えんてらすにピアノが寄贈されました

6月、地域の方から寄贈されたピアノが、えんてらす（広丘公民館）の1階の101会議室に入りました。第1回文芸サロンが使い初め。これから公民館講座やサークル活動で活用されることを期待しています。



広丘太極拳自主サークル

「仲間と共に心も体も元気に！」を合言葉に、毎週金曜日19時30分～21時30分まで、広丘公民館で活動しています。

太極拳は、ゆっくりとした動作と呼吸でおこなう全身運動です。八つの型から成る入門太極拳、世界中に普及している24式太極拳、扇や剣を使った演武などに取り組んでおり、やるほどに奥が深く面白いです。

膝や腰に負担なく、誰でも自分の今の体力からすぐに始められます。日常生活の姿勢など、長年の生活習慣を意識的に改善し、体の調子を少しずつ整えていきます。



また和気あいあいと学び合うことで、不思議と笑顔ですっきりした気分が帰宅できます。

本年度は新入会員3名を始め、太極拳歴1～2年の初心者から30数年の有段者まで、15名が講師のもとで楽しく練習に励んでいます。

一緒に太極拳を始めませんか？

年齢に関係なく。お1人参加も、ご夫妻でも、大歓迎です。お気軽にお問合せください。

問合せ先：090-4814-3205（飯嶋まで）

体協だより

広丘地区体育協会キャッチフレーズ **問い合わせ先** 広丘公民館 ☎ 0263-52-0157

スポーツを通じ、明るく笑顔で、健康づくりと仲間づくり

広丘地区体育協会 会長 平 林 利 幸

日頃、広丘地区体育協会に対しまして、御理解御協力を預かり誠にありがとうございます。広丘公民館報編集委員の端席を任せされまして早々2年余りとなりました。

この間、広丘体協の事業が新型コロナにより十分展開できませんでした。そのため、公民館報の「体協だより」にも充実した報告ができないこと、誠に

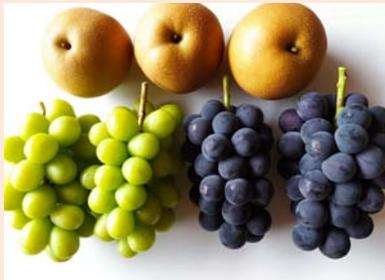
申し訳なく思う次第です。昨年の公民館報第157号の中にコロナ感染第5波と記されておりましたが、1年後の現在、第7波と衰えることを知らない新型コロナ。長引くコロナ禍で、体協の事業展開には専門部の担当者は悩み迷うところと思われます。

こうした事情を鑑みて、体協の事業推進にあたり今後ともご支援賜ります事、深くお願い申し上げます。

令和4年度 広丘地区体育協会後期事業計画

No.	大会名等	実施予定日	曜日	開会時間	会場
17	広丘地区グラウンドゴルフ大会	10月12日	水	9:00	野村グラウンド
18	広丘・高出中学生秋季ソフトテニス大会	10月23日	日	9:30	中央スポーツ公園
19	ダンススポーツ交流会	11月6日	日	17:00	広丘小体育館
20	秋の広丘・高出地区ミニバレー大会	11月20日	日	8:00	広丘小体育館
21	広丘支部対抗卓球大会	11月20日	日	9:00	広丘体育館
22	広丘・高出地区ニュースポーツ交流会	11月27日	日	8:00	広丘小体育館
23	広丘・高出地区ソフトバレー冬季大会	12月4日	日	9:00	広丘小体育館
24	広丘地区バドミントン交流会	12月4日	日	9:00	丘中体育館
25	ダンススポーツ教室	12月		19:00	広丘公民館
26	広丘・吉田・高出地区少年少女柔道大会	12月24日	土	13:00	誠心館道場
27	ふれあいスポーツ教室	7月～12月		19:30	広丘小・丘中・広陵中体育館
28	中級ソフトテニス教室	通年	火	19:30	広陵中体育館
29	初級ソフトテニス教室・親子テニス教室	通年		8:30	北部公園テニスコート

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止する場合があります



会社勤めをしていましたが、転勤になったことから思い切って辞め、家業である果樹農家を継いで10年目になります。

農家の息子ではありませんでしたが、知識や経験があまりなくどうしようか考えていました。生食ぶどうとワイン用ぶどうは栽培方法が違うけれど、ぶどう栽培がしたくて柿沢にあるサンサンワイナリーで午前中働き、午後は家業である梨ぶどう作りを7年間続けてきました。現在はワイナリーを辞め、梨ぶどうの栽培を一人で行っています。忙しい時期は身内に手伝ってもらっています。

今でもサンサンワイナリーとお付き合いさせていただいて、意見交換をしてそれぞれのぶどう栽培に活かしています。少しですがワインの知識が得られました。

両親が植えて栽培してきた30数年の巨峰の木がありましたが、会社を辞めた時に植替え、5年目位から大きい房も出来るようになり、今は畑一面に広がっているぶどうを一つ一つ手をかけ物にする事に魅力を感じています。

今は種無し皮ごと食べられるぶどうが人気で、特にシャインマスカットはともて人気があります。私も栽培していますが、様々な問題があり作るのも大変です。シャインマスカットはスチューベンとマスカット・オブ・アレキサンドリアの交配種ですが、雨に弱く新梢や粒に黒い斑点が生じたり、全国的に未開花現象が生じたりしています。未開花現象については原因が分かっています。

ぶどう・梨共に年に10数回の消毒をして、病気や害虫の影響を受けないようしています。梨栽培については、4月に花が咲きますが満開時に氷点下の霜になると交配ができず実にならなくなります。2018年には梨の出荷予定日の前に台風が通過して、5割近くの梨が落下した事もありました。

果樹栽培を始めてから変わったことが二つあります。1日に何回も週間天気予報をみるようになりました。果樹は1年に1度の収穫になるので、天気はとても気になります。もうひとつは、スーパーに行った時、果物コーナーで生産地・大きさ・色・形を確かめてみるようになりました。

会社を辞めた時には、野村地区には果樹農家が10軒ほどありましたが、現在は4軒になり寂しく思いますが、満足いく果物が作れるようにこれからも頑張ろうと考えています。塩尻市にもいろいろな果物があるので、旬の時期に食べていただきたいと思っています。

広丘平和学習会

戦後77年目、長崎原爆投下の日にあたる8月9日、広丘平和学習会が開催されました。戦争体験者の講話として、実兄が戦死し父とともに遺骨を引き取りに行った経験を、保科文人さんからお聞きしました。

引きつづき、今年から始まった学校日誌を読む会の報告があり、原爆投下時刻（11時02分）に合わせ、参加者一同黙とうを捧げました。



＜戦争体験者（保科文人さん）の講話（要旨）＞

■関係者

兄 義一さん（当時25歳）
本人 文人さん（当時9歳、現在87歳）

■経歴

昭和19年8月18日 フィリピン西方海峡、バジー海峡にて搭乗船沈没

■当時の様子は

昭和19年9月に兄義一の戦死の報を母親から聞きました。母親は取り乱したように悲しみをぶつけ異様な雰囲気だった。翌年1月、松本50連隊へ遺骨を引き取りに行きました。実際に遺骨や遺品はなく骨箱は「非常に軽かった」。連隊長は、魂を受け取ってほしい、と言い、近所の床屋で出征前に切った兄の髪の毛を埋葬しました。

■保科さんにとって戦争とは何であったか。若い人に伝えたいことは

「戦争はむなし。何も残らない。平和・平和と言っているだけでは、平和は来るものではない。どう守るか、自分たちでしっかりと考えていかないといけない。」と感じています。

■参加者の声（アンケートから）

- ・学校日誌を始めて見させていただきました。「今後の生き方を歴史から学ぶ」大切な事だと思いました。戦争は幸せな生活をうばうもの、祖父が戦死し母の話を聞いたたびに身にしみます。保科さんもありがとうございます。
- ・本日は、妻・孫の3人で参加させていただきました。77年前の広島・長崎の悲劇、二度と起こしてはいけません。孫は真剣にメモをとっていました。
- ・自分の知らないことが聞けて、良かった。本人の声がやはり一番心に響きました。今後の世代に伝えてほしい。

■感想短文

- ・センソウは ルールナキ プロレス ショウシャノミガオゴレルセカイ
カタカナの部分で痛烈な逆接表現・皮肉的な表現になっています。力ずくの世界なんて許してはいけません。作者の思いを強く感じます。
- ・原爆の スイッチ握る 悪魔の手 世界の末路は 身近になりぬ
平和とは何なのだろうか。核の傘下に置くことが安定を生むのだろうか。作者のこの不安感が大きなメッセージとなっています。

堅石区は、世帯数約1,000戸、人口約2,600名で、15の常会により構成されています。

5年余りに堅石公民館がリニューアルオープンとなり、地域の皆さんと共に「つどい・まなぶ・むすぶ」拠点として、様々な公民館事業に取り組んでまいりました。

堅石公民館の運営は、館長・主事・会計の3役そして4部（教養部3名・体育部3名・青少年育成部4名・女性部3名）の部長および副部長13名、区長・副区長・顧問で公民館各部3役会議を構成し、事業計画に沿って検討を加えます。

なお、事業実行にあたっては事業規模に応じ、数多くの実行委員会各位（区政委員・常会長・各種団体の皆さん）のお力添えをいただきながら、各種事業を展開しています。

ここ2年間はコロナの影響を受けて、数多くの事業が中止を余儀なくされておりましたが、今年度に入り4月の「園芸教室（原新田公民館共催）」を皮切りに、5月は3年ぶりの「常会対抗マレットゴルフ大会」開催と順調なスタートを切ることができました。



しかし、オミクロン株による第6波で、6月は代替事業「イタリア家庭料理教室」、7月は「焚火会（原新田公民館共催）」や「ロボットワークショップ（野村・原新田公民館共催）」、8月は「人権学習会（原新田・野村公民館共催）」等の事業で乗り切ってまいりました。

そんな中、コロナ第7波も加わりビックイベントである「堅石夏祭り」「堅石三社秋祭りのこども神輿・浦安の舞」は止む無く中止、「堅石大運動会」は代替事業（健康ウォーク大会）として11月26日（土）に信州スカイパークで計画中です。

一日も早い日常が訪れることを願いつつ、公民館役員各位とぎりぎりまで事業実施を模索しながら奮闘中です。



学校日誌を読む会報告

赤羽徳英さん

昭和19年度の学校日誌を読み、書いてあること、感じたことを報告します。

- 太平洋戦争に関する記録が多い
 - ・敵機来襲による警戒警報発令・解除についての掲載が複数あります。休校・休講の記録が無いので児童は校舎内にいたのではないかと推測しています。
 - ・8月21日（月）校長訓話でサイパン島玉砕の様子
 - ・3月21日（水）硫黄島皇軍全員玉砕の報道と記述があります。どのような内容であったか興味があります。
- 戦勝祈念として神社参拝の記述が多い
 - ・10月28日（土）レイテ島等の戦勝祈念全校にて原新田神社参拝
敗戦の色濃い当時、教職員はこの参拝をどのように感じていたのでしょうか。
- 入隊に関する記述
 - 1月22日（月）海軍志願兵壮行式
本心で志願したのであろうか。
 - 2月21日（水）〇〇先生応召入隊という記述
教員応召入隊が複数あります。制空権・制海権を失い、敗戦が決定的な時期での入隊、どのような心境であったであろうか。

平林玲子さん

学校日誌のほか、看護日誌があり読んでみました。

当時あった看護当番は高等科2年生の担任らしく、役目は登校時、昼休み、下校時に校内を巡視することで、一週間交代で行われていました。

登校時教室の窓が開けられているか、昼休みは昼食後全員校庭で遊ぶこと、掃除は上衣を脱いで無言清掃、下校時には掃除のチェック、戸締りすべての窓を閉めること、家へ帰ることなど、全校を巡視してまわりその結果を日誌に記録しています。

日誌に記録されている、ある先生の言葉が印象に残りましたので紹介します。

「一日一日が自分たちの一生に二度とない大切な日である。二度と来ないこの日を大切に有意義に送ってもらいたい」

12月8日（大東亜戦争から1年たった日）大東亜戦争の話の繰り出す。

「歴史は力強く作られつつある。我らも歴史を作る一貫である。大東亜建設に向って邁進しなくてはならない時である。」

ふるさと探訪

百年前の流行性感冒(八)

百年前の流行性感冒は長野県の場合、大正7年10月下旬から11月にかけて流行しはじめ、11月8日以降感冒により死亡の記事が「信濃毎日新聞」(以下「信毎」と表記)に登場し、12月になると、県内各地の悲惨な状況が書かれるようになることは前号で紹介しました。今号では県全体ではどのような状況だったのか「信毎」から紹介します。

11月1日から各警察署に、管内の発生患者数を報告させるようにした長野県は、11月9日の「信毎」に2日までに報告のあった患者数を「患者八万二千餘▽懸下全体に亘る大流行▽諏訪松本等工女の多い所に多い」の見出しで郡市別に掲載しました。

南佐久郡	一九七四人
北佐久郡	九六八人
小懸郡	五九九八人
諏訪郡	三三八六三人
上伊那郡	九二一七人
下伊那郡	三一九三人
東筑摩郡・松本市	一〇三七四人
西筑摩郡	未報告
南安曇郡	四四六七人
北安曇郡	一九五六人
更級郡	五五六人
埴科郡	三〇五人
上高井郡	一五一人
下高井郡	一〇四三人
上水内郡・長野市	七八三三人
下水内郡	五〇二人

長野県内では10月下旬から11月にかけての約1ヵ月余で、8万2千人余が感染

していますから、感染力は非常に強かったことがわかります。中でも多いのが諏訪郡3万3千人余、ついで多いのが東筑摩郡・松本市となっています。罹病者が多いのは製糸工場で働く工女が大多数を占めていると報じています。製糸工場が多くある岡谷では一工場で500人以上の患者を出しているところもあると「岡谷製糸 工女全滅」の見出しで記事にされています。この時点で死亡者数は掲載されていません。

大正8年2月27日には初発以来の1月31日までの患者数累計と死亡者数が郡市別に掲載されました。

初発以来患者数累計	死亡者数	
南佐久郡	三二〇〇九	三〇六
北佐久郡	二二四四四	三三一
小懸郡	二二二四八	三三九
諏訪郡	八五五一	三五〇
上伊那郡	六〇八一五	四二〇
下伊那郡	六二〇二七	六〇四
西筑摩郡	一四二九二	二八九
東筑摩郡	四三六六一	五六七
南安曇郡	二六五五三	二一七
北安曇郡	二四二四六	三二三
更級郡	三五七八一	四七一
埴科郡	二二三六七	二九二
上高井郡	三一〇八一	一三三
下高井郡	二九九四五	三一八
上水内郡	四四八六八	六三六
下水内郡	二六四一	一〇九
長野市	一九七六六	二〇六
松本市	四〇二三三	一四〇
合計	六二二五三三	六〇五一

1月15日までの累計患者数と死亡者数も掲載されていて、患者数は六一万三八一人、死亡者数五七七五人となっています。また、31日までに罹った人は、四五二人、亡くなった人は二七六人との記述もあります。2週間あまりで三百人ち

かくの人が亡くなっているのは驚くべきことです。

東筑摩郡では四万三千人余が罹り、五六七人が亡くなっています。12月5日には郡内で二七七人が亡くなっていることが記事なっていますので二ヵ月余りで二二〇人が亡くなっていることになりました。山間部では一家で数名の死亡を出していることや、肺炎を起こさないで極度の高熱で亡くなっている悲惨な状況は前号で紹介しました。里山辺村では村の収入役や村会議員もなくなったことも記事になっていきます。しかし東筑摩郡のことはあまり取り上げられなくて、郡内の詳しいことはわかりませんが、下伊那郡については地元新聞「南信」が五百十名の死亡者を「十一月最も多く三百二十三名、十二月百六名、十月五十名」と月別に記事にしています。塩尻町では29人が亡くなっていることは「塩尻町誌」に書かれています。東筑摩郡内は山間部はもちろんです。平坦部でも被害が多かった可能性があります。当時松本市には「信濃民報」と「信濃日報」の二つの地元新聞がありました。地元ではどのような取上げ方をしているのでしょうか。松本市立図書館には地元新聞が所蔵されているので、次号で紹介できると思います。

下高井郡夜間瀬村須賀川では総戸数二四〇戸中患者を出さない家は一戸もなく、11月22日から12月9日までの20日余りに61名の死者を出しています。中野警察署管内一町一〇カ村で12月22日までに死亡した人二二七人を出しています。夜間瀬村では一二人となっていていますが、半数は須賀川の人たちでした。中野町では家族11名中10名が罹り、内4名が死亡するという悲惨な状況を記事にしています。(太田秀保)

編集後記

コロナウイルス感染拡大第7波の終息が見えない中ではありますが、公民館として「集う」「繋がる」「学ぶ」の基本コンセプトを大切に活動してまいりました。

社会経済活動にブレーキをかけさせないという行政の方針を受け、又、ウィズコロナの風潮に後押しされながら感染防止に最大限配慮し公民館活動を推進しています。しかし、当然のことながら地域の皆様の警戒心は緩まず、参加者も限られた方に集中する傾向が見られ、少し残念な思いもしております。

本紙、2頁から4頁には「広丘公民館フォトニュース」として本年度上半期に行われた公民館行事を掲載させていただきました。少しでも興味を持たれた方は公民館行事への積極的なご参加をお待ちしております。「公民館報広丘」が一人でも多くの皆様の目にとまり、地域の皆様の「繋がる」の一助になることを願ってやみません。(編集委員長 竹沢 誠)

世帯数と人口

(令和4年10月1日現在)

区	世帯数	男	女	計
原新田	1,909	2,058	1,997	4,055
堅石	1,026	1,285	1,316	2,601
郷原	700	764	738	1,502
野村	2,713	2,890	2,622	5,512
計	6,348	6,997	6,673	13,670
塩尻市	28,663	33,087	33,116	66,203